北

新

「TS システムサポート presents

【PR特集】

国選抜小学生 石川県大会

システムサポートpresents全国選抜小学生プログラミング石川県大会・決勝大会 は1月24日、金沢市の北國新聞交流ホールで開かれ、書類選考を通った16組37人が [もっと好きになる わたしたちのまち]をテーマにプログラミングを使ったアイデア を発表しました。最優秀賞には、片山津わくわく工作部(加賀市)が考案した「ゴミ食べ る君」が選ばれ、3月21日にオンライン開催される全国大会への出場権を得ました。

□主催:北國新聞社、全国新聞社事業協議会 □特別協賛:システムサポート

□協賛:アイ・オー・データ機器、NTTデータ北陸

□後援:未来の学びコンソーシアム、経済産業省、石川県、金沢市、石川県教育委員会 北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ・こまつ・ななお





最優秀賞

最優秀賞に輝いた動くゴミ

箱「ゴミ食べる君」は、小型コ

ンピューター「マイクロビット」

が搭載されており、あらかじめ

決められたエリア内を自動ま

たはリモコンの操作で動き、

ゴミを回収するようプログラ

ゴミ食べる君の底面には、4

本の車輪とモーターが装着さ

れています。チェックポイント

に到着すると、赤外線センサ

一で検知し、自動で進行方向

を変える仕組みになっており、

これによりエリア内を巡回し

ほか、「ゴミを捨ててください」

などの音声も流れ、周囲に存

在をアピールします。前方に

障害物を検知すると、停止す

ゴミ食べる君を開発したの

は、片山津わくわく工作部の

下口博人さん(6年)と辰見翔

真さん(5年)、川畑翼さん(4

面にも配慮しています。

ムが組まれています。

経済情報学部長 桑野 裕昭氏

美術館、ひがし茶屋街)と、食(金沢カレー、金箔 ソフト、ハントンライス、和菓子)の魅力を紹介 するソフトです。メイン画面上の各項目にカー ソルを合わせると、紹介画面に切り替わります。

磯見律花さん(金沢市諸江町小5年) 狩山実那さん(金沢市諸江町小5年) 作品名 目の不自由な人のためのアプリ

特別賞

細川大耀さん(能美市湯野小4年)

作品名 DDoS攻撃フィルター ウェブサイトやサーバーに対して過剰なアク

セスやデータを送付するサイバー攻撃「DDoS

攻撃」からウェブサイトを守るプログラムを開

発しました。同一端末から15回以上のアクセス

があると、端末をブラックリストに登録します。

白鳥陸鏡さん(金沢市三馬小6年) 作品名 私のまち 金沢

金沢の建造物(兼六園、金沢城、金沢21世紀

まわりの物との距離や、その物の大きさなど を音声で知らせるスマートフォンアプリのアイ デアを考えました。盲導犬の代わりに、目の不 自由な人にスマホを首から下げてもらい、この アプリを活用してもらいます。

おみちょ混雑解決チーム(金大附属小) 杉谷逞さん(4年)、青木孝一郎さん(4年) 佐藤真理さん(3年)、杭田岳琉さん(3年) 作品名スマホアプリ「おみちょ人混み状況」

新型コロナ対策で「3密」を避ける傾向に着 目し、近江町市場が混雑しているかどうかが一 目で分かるスマートフォンアプリを考えました。 アプリには映像とグラフ、各店舗の営業状況も 掲載します。

後舎斗真さん(金沢市小坂小4年) 作品名金沢大脱出ゲーム

鬼の追跡から逃れ、金沢からの脱出を目指 すスマートフォンアプリのゲームです。金沢の 複数の名所を巡り、そこで出される課題を解き、 報酬の「文字」を得て、その「文字」を持って金沢 駅に向かいます。

優秀校賞

金大附属小学校

金大附属小からは計6チームが出場し、それ ぞれ近江町市場の活性化に向けたスマートフ ォンアプリのアイデアを発表しました。

審査員アイデア賞

市村優樹さん(津幡町津幡小3年) 作品名 人も動物も物も楽しくなる街

原田康太郎さん(金沢市明成小6年)

山口 倖さん(ナビ個別指導学院かほく校・かほく市外日角小4年)

ඐもっと好きになる わたしたちのまち

優秀賞には山口倖さんの んはコンピューターの仮想空 作品[もっと好きになる わた 間で気分だけでも旅行を味 したちのまち」が選ばれました。わってほしいとの思いから、 テーマと同名のこの作品は、 このアイデアを生み出しまし プログラミングソフト「スクラ た。誰にでも分かりやすい、シ ッチ」を使い、石川県のマップンプルな内容にもこだわりま 上で、自らのキャラを動かし、 都市や名所などを訪ね、旅気 分を味わうものです。

たとえば、マップ上のキャラ を「和倉温泉」に動かすと、画 面が大浴場の場面に変わり、 キャラを入浴させることが可 能です。「金沢市」や「かほく 市」の都市名の上にキャラを 動かすと、その都市の観光ス ポットや特産品を紹介する画 面に切り替わります。

新型コロナ禍の中、山口さ



センサーを搭載 会場を自動で巡回

片山津わくわく工作部(加賀市片山津小)

下口博人さん(6年) 辰見翔真さん(5年)

川畑翼さん(4年) 下口美咲さん(4年)

➡ゴミ食べる君

人です。お祭りやイベントの作業にも取り組みました。全 会場でのポイ捨てを何とか防

ED)のテープが貼られている けです。

国大会に向け、代表の下口博 側面には発光ダイオード(L げないかと考えたのがきっか 人さんは「走行中にゴミ食べ る君が転ばないよう、もっと改 4人はプログラミングだけ 良を重ねたい」と抱負を語っ ではなく、はんだ付けなどのています。

るように設計されており、安全

全国選抜小学生プログラミング大会は 2020年度から小学校でプログラミング 教育が必修化されたことを受け、全国新 聞社事業協議会が初めて企画しました。

県大会は1月13~15日に書類審査による 予選が行われました。

石川県大会決勝大会では、児童は作品 の特徴や苦労した点などを3分間で紹介 し、発想力、表現力、技術力が審査されま





















































ルアップさせ